

群馬大学医学部附属病院

群大病院だより

GUNDAI NEWSLETTER

〒371-8511 群馬県前橋市昭和町三丁目39-15 / TEL 027-220-7111(代) / ホームページ <https://hospital.med.gunma-u.ac.jp/>

「すべての子どもに、安心・安全な医療を。」

医療安全週間を開催しました

医療の質・安全管理部 部長 田中 和美

WHOが定める「世界患者安全の日」である9月17日にあわせて、医療安全週間を毎年開催しています。今年度は「世界患者安全の日」のテーマが、「Safe care for every newborn and every child（すべての新生児とすべての子どもに安全なケアを）」であることにちなんで、「すべての子どもに、安心・安全な医療を。」をテーマとして9月16日(火)から9月19日(金)に開催しました。

例年同様、初日には、「誓いの碑」の前で、「誓いのつどい」を開催し、集まった職員で碑文を読み上げ、医療事故を教訓とし、決して風化させないこと、医療の質と安全の向上のために最善を尽くすことを再確認しました。

同日には、医療安全講演会も開催され、お子さんの出生時に医療事故を経験され、その後強い信念を持って、医療安全に関する我が国の施策にも多く関わってこられた勝村久司氏にご登壇いただきました。現在では医療機関を受診すると発行されるのが当たり前になっている診療明細書ですが、その発行が行われるよ

うになったことも、勝村氏のご尽力によるものと伺い、大変感銘を受けました。

また、各部署における医療安



全の取り組みを示したポスターや、各部署および職員個人が考えた医療安全に関する標語を外来棟1階の廊下に掲示し、来院者による投票も行いました。開催内容の詳細は、当院医療の質・安全管理部のウェブサイトに掲載していますので、ぜひご覧ください。

なお、本学医学部医学科の4、5年生も、医療安全の授業の一環として医療安全講演会を聴講させていたでいており、医療安全の重要性を学んでいます。4年生は、ポスター、標語の投票にも参加しています。附属病院での臨床実習が10月から始まりますので、実習に先立ちポスターから院内各所の医療安全の取り組みを学ぶ機会にもなっています。



も く じ

- 「すべての子どもに、安心・安全な医療を。」
医療安全週間を開催しました 1 ページ
- 新任教員のご挨拶 2 ページ
- 「小中学生のための医学研究者・医師・看護師体験教室」を開催 2 ページ
- 群馬県がん診療連携拠点病院地域懇話会・市民講座の開催報告 3 ページ
- 第15回群馬大学医学部附属病院地域医療連携施設交流会の開催報告 3 ページ
- 群馬県難病相談支援センター・群馬県難病医療協力病院間の意見交換会開催報告 3 ページ
- カルテ閲覧・共有システム利用の勧め 4 ページ
- 病院探検！「システム統合センター」 4 ページ
- リレー・フォー・ライフ・ジャパン2025ぐんまに参加しました 4 ページ

新任教員あいさつ



呼吸器・アレルギー内科 教授 **伊藤 功朗**

2025年8月より呼吸器・アレルギー内科教授として着任いたしました。当科は、三つの大きな疾患分野すなわち、肺がん・肺炎・アレルギー性疾患などについて、多彩な病気を診ております。重症や難治性の患者さんも多く、大学病院として一層、専門医療に注力できるよう、このたび、それぞれの分野で「専門外来」を設置いたしました。受診希望のかたは、お気軽に主治医等にご相談ください。皆様の健康や療養にお役に立てるよう努めてまいります。

「小中学生のための医学研究者・ 医師・看護師体験教室」を開催

総務課



令和7年8月19日に小学校5年生から中学校2年生を対象とした「小中学生のための医学研究者・医師・看護師体験教室」を開催しました。医学・生命科学への興味を育むことを目的に、ご参加いただきました。

医学研究者コースでは、蛍光顕微鏡での細胞観察、電気生理実験、ウイルス模型の組立などを体験。「病気に対して策を探し続ける大切な仕事」「多くの人と協力して研究する」といった具体的なイメージを持つことができたとの声が聞かれました。

医師コースでは、附属病院の協力のもと、胸部聴診やエコーによる心臓観察、上部消化管内視鏡（胃カメラ）の操作などを実践。「医師が実際に使う機械に触れ、操作を学べた」と好評でした。

看護師コースでは、肺の音の聞き比べ、車椅子体験、血圧測定、赤ちゃんへの看護実技などに取り組み、「自分で人の血圧を測るのは初めてで良い経験になった」「患者さんとたくさん関わり不安を取り除く、明るいイメージを持った」などの感想が寄せられました。

また、座学では「病気をなおすって、どんなこと？」と題し、医療の仕事内容ややりがいを紹介。さらに、「良い睡眠のために知っておいてほしいこと」として睡眠のメカニズムや生活習慣についても学びました。

今回の体験が、参加された方々にとって医療への理解を深め、将来の夢や目標を描く貴重なきっかけとなったことを願います。



患者支援センターからのお知らせ

群馬県がん診療連携拠点病院 地域懇話会・市民講座の開催報告

群馬県のがん対策推進を目指し、「群馬県がん診療連携拠点病院地域懇話会・市民講座」を、当院ホームページにおいてオンデマンド配信をしております。今回は、群馬大学大学院医学系研究科 腫瘍放射線学分野 教授 重粒子線医学センター長の大野 達也先生と群馬大学医学部附属病院 がん放射線療法看護認定看護師の橋本 智美先生からご講演をいただいております。配信期間は2026年3月31日までとなっております。多くの皆様にご視聴いただければ幸いです。



第15回 群馬大学医学部附属病院地域医療連携施設交流会の開催報告

令和7年7月3日（木）に、群馬県医師会ならびに郡市医師会の先生方や地域医療連携登録施設の皆様及び群馬県内医院の皆様をお招きし、第15回群馬大学医学部附属病院地域医療連携施設交流会を開催いたしました。計161名の多くの方々にご参加いただき、盛況のうちに会を終えることができました。お忙しい中ご出席いただきました皆様に、感謝申し上げます。

群大病院は、地域に根ざした病院として、今後も地域の医療機関との前方・後方連携をさらに深め、群馬県の医療に貢献していく所存です。皆様の変わらぬご指導とご支援を引き続きよろしくお願い申し上げます。



群馬県難病相談支援センター 群馬県難病医療協力病院間の意見交換会開催報告

令和7年9月26日(金)に群馬県感染症・疾病対策課と共催で、群馬県難病医療協力病院間の意見交換会を開催いたしました。講師に群馬大学大学院保健学研究科教授の牛久保美津子先生をお招きし、「難病の医療・ケアについて」をテーマにご講演いただきました。

県内の難病医療提供体制について、県と協力病院の連携窓口担当者が現状や課題等を意見交換し、顔の見える関係性作りの一助となりました。難病療養者およびその家族が、地域で安心して暮らすためにも連携の強化は必要不可欠な要素であることを深く学ぶことのできた意見交換会となりました。



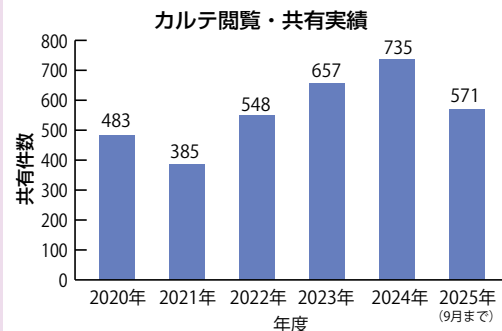
カルテ閲覧・共有システム利用の勧め

放射線診断核医学科長・放射線部長・病院長補佐 教授
対馬 義人

当院では「患者参加型医療」推進の一環として、リアルタイムで自分のカルテを閲覧・共有できるシステムを提供しています。これは従来の事後的なカルテ開示請求とは異なり、診療情報の全てを患者さんと医療従事者との間で常に共有することで、患者さんの病気への理解を深め、さらに医療の質と安全性の向上を目指すものです。

このシステムは2019年から入院患者さん向けに導入され大変好評ですが、昨年12月からは外来患者さんも利用可能となりました。国内の大学病院で、病院全体としてこのシステムを推進しているのは当院だけです。

ご利用希望の方は、外来診療時に担当医にお申し出ください。その場でパスワードが発行されます。ご家族などと一緒に閲覧いただいても差し支えありません。ぜひご活用ください。



病院探検！「システム統合センター」

診療の質を高める揺るぎない情報基盤の中核

皆さんが安心して診療を受けられるよう、病院のITシステムを支えているのが私たちシステム統合センターです。

皆さんの大切な診療情報が記録されている電子カルテの管理や、医療機器との連携などを通じて、診療業務をサポートしています。

情報漏洩などを防ぐセキュリティ対策にも力を入れ、皆さんのプライバシーを守りながら、いつでも安全で質の高い医療が受けられる環境を整えています。

システム統合センター センター長 大西 真弘



医療情報係とのミーティング

リレー・フォー・ライフ・ジャパン2025ぐんまに参加しました

令和7年10月11日（土）・12日（日）に開催された、がん患者さんやそのご家族を支援するチャリティイベント「リレー・フォー・ライフ・ジャパンぐんま」に、当院職員ら約80名が通算20時間のリレーウォークに参加しました。1日目はあいにくの雨でしたが、会場のALSOKぐんま総合スポーツセンターふれあいグラウンドを大人も子供も一歩一歩思いを込めながら歩きました。夜は寄せられたルミナリエ（がんと闘っている人たちや対がん運動への思いを込めた灯ろう）が幻想的にコースを彩りました。集まった募金は実行委員会事務局を通じ、（公財）日本対がん協会へ寄付されます。



群馬大学医学部附属病院「群大病院だより」

第19号 2025年12月

編集 ■ 群大病院だより編集委員会

発行 ■ 群馬大学医学部附属病院

発行日 ■ 2025年12月1日

ホームページ ■ <https://hospital.med.gunma-u.ac.jp/>

病院の理念

大学病院としての使命を全うし、国民の健康と生活を守る。

基本方針

安全・納得・信頼の医療を提供する。
次代を担う人間性豊かな医療人を育成する。
明日の医療を創造し、国際社会に貢献する。
医療連携を推進し、地域医療再生の拠点となる。